

教育目標

人間尊重を基盤とし、知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性を育み、創造的でたくましく生きる子どもの育成

わくわく生き生き 笑顔の輝く 明るい学校

めざす子ども像

- 自信を持ち、最後まであきらめずにやりぬける「芯」のある子ども
- やわらかい頭(知)
 - ・自分の考えを持ち、思いや考えを伝え、行動にうつせる子ども
 - ・意欲を持って主体的に学び続ける子ども
- ひらかれた心(徳)
 - ・自他ともに尊重し、他者の違いや良さを認め、支え合い協力し合える子ども
 - ・広い視野を持ち、様々なことに興味を持てる感性豊かな子ども
- しなやかな身体(体)
 - ・健康・命について理解し、心身ともに鍛える健やかな子ども
 - ・状況に応じて自ら安全を守れる子ども

めざす学校像

- 子どもにとって
 - 居場所があり、安全で安心して楽しく学べ、自己実現が図れる学校
- 教職員にとって
 - 一人ひとりの個性が生かされ、連携協力して力を発揮できる、活力にあふれた学校
- 保護者にとって
 - 安心と信頼で、子どもを行かせたい学校
- 地域にとって
 - 子育ての課題が共有でき、自らも活動し学べる開かれた学校

本年度の重点的取組み

国際理解教育の充実

- <研究主題>
「つながる力」を育てる
～国際理解を通して～
- ・学年ごとに系統だった学習をめざした指導計画の策定と学習の展開
 - ・学習内容の充実化をめざした講習会等の検討

協働的な学びの充実

- <研究主題>
自分の考えを持ち、伝えあう、協働的な学びのある授業づくり
- ・多様な他者の考えを理解する
 - ・自分の考えをわかりやすく伝える
 - ・異なる考えを組み合わせ、より深い学びを生み出す

キャリア教育の充実

- <研究主題>
一人一人の社会的・職業的自立に向けた、キャリア教育の充実
- ・学年ごとに重点目標を設定する
 - ・キャリアパスポートの中に反映できる取り組みを計画し、実施する
 - ・年間指導計画の見直し

情報活用能力の育成

- 日常はもとより、ICT機器の効果的な活用を推進し、指導方法の工夫改善に努め、以下の力を育成する
- ・効果的な情報手段を選んで必要な情報を収集する力
 - ・情報を比較し必要とする情報や信用できる情報を選び取る力
 - ・受け手に伝わりやすいように表現を工夫して発表したり情報を発信したりする力
 - ・土台となる読解力や言語能力

- カリキュラムマネジメントの視点を持った効率的で効果的な学習指導計画
- 基礎基本の確実な定着と授業規律の徹底
- アクティブラーニングの視点を持った授業改善
- 学びが生きて働くことが実感できる学習指導
- プログラミング教育など情報教育の推進
- 互いの意見を聞き合え、助け合える学習集団作り
- 意欲を引き出し、可能性を高める学習評価の研究
- 安全で安心して過ごせる教育環境の整備

- 自己有用感を感じられる、つながりのある学級・学年作り
- これまでの道徳研究を生かした、違いを認め合い互いを尊重できる心の教育の充実
- 教育環境を生かした体力向上と体と心の健康教育
- 児童に寄り添い、教職員がチームとなって課題対応にあたる生徒指導体制の構築
- 勤務負担軽減の更なる推進

確かな学級・学年経営 家庭・地域と連携した教育活動の推進